

「ユニバーサル都市・福岡」とは、どんなまちの姿なのでしょう。

私たちにとって身近な場面を例示しました。

業務の振り返り、チェック、改善につなげるために活用してください。



窓口

- 色分けなどでわかりやすく工夫された窓口。
- 音声付の電光掲示板やディスプレイ端末を活用したわかりやすい呼び出し。
- プライバシーが確保され、生活、暮らしのことを安心して相談できる窓口がある。
- 窓口に来なくても、電子申請や身近な場所で申請手続きができる。

サービス・思いやり

- 積極的な声かけや笑顔での挨拶ができています。
- 職員が確かな人権意識を持ち、ユニバーサルデザインや介助についての知識に基づき実践している。
- 職員同士で情報を共有し、市民の声を生かすよう、改善している。

案内

- 案内、番号発券機、記入用紙などが見つけやすく、使いやすい。
- 指差し会話集や筆談の用具、老眼鏡などが準備されている。
- 窓口への案内や記入方法など、手続きのお手伝いをする係員がいる。
- 手話や外国語に対応した係員がいて、名札などで見つけやすい。